

障サ協
広報紙

山口県障害福祉 サービス協議会通信



発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

【活動目標】支援現場での三障害一元化を目指し、障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組みます



会員事業所紹介（第23回） 常に支援の質の向上を目指す

障害者支援施設ひかり苑

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気に触れながら、職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする、会員事業所紹介です。
今回は、光市の障害者支援施設ひかり苑をご紹介します。お話を伺ったのは、支援課長の貞森達雄さんとサービス管理責任者兼支援課長の小川具慶さんです。

障害者支援施設 ひかり苑
設置法人：社会福祉法人 ひかり苑
実施事業：入所支援、生活介護、短期入所、地域生活支援（日中一時支援）
施設長：國澤宗蔵
〒743-0023 光市光ヶ丘3-17
TEL. 0833-44-7373 FAX. 0833-44-7355

1. 開設の経緯をお聞かせください。
小川：当時、光市には知的障害のある子どもの受け入れ施設がなく、保護者が親の会を立ち上げ、初代理事長に働きかけてひかり苑ができました。
昭和61年9月に社会福祉法人の認可を得て、昭和62年4月に「精神薄弱者更生施設ひかり苑」を定員30名で開園。翌年、昭和63年4月に通所を開始。平成

令和4年7月に現在の場所（光市光ヶ丘）に移転しました。
貞森：ワークステーションひかり苑、通所支援施設ひかり苑光ヶ丘が入っている建物は、光市から法人が借りているのですが、元は、平成3年開校の周南コンピュータカレッジ専門学校として建てられ、その後、YIC保育&ビジネス専門学校が令和4年3月に閉校するまで利用されていた校舎で、移転と同時に敷地内に新築で障害者支援施設ひかり苑の入所施設を建てました。1階が男性棟、2階は女性棟です。

2. 現在の利用状況を教えてください。
小川：入所は男性24名、女性26名の50名定員です。短期入所が男性7名、女性12名の19名、生活介護は19名、通所支援センターひかり苑光ヶ丘は定員18名です。
1人1人しっかりとアセスメントして生きた支えを知った上で、その人に合った支援を組み立てます。担当者だけで考えるのではなく、チームで取り組む